

地域資源の高付加価値化に関する研究

ーベントナイト-リンゴ剪定枝活性炭複合化消臭ペレットの開発ー

Study to add of value of local resources

- Development of deodorant pellet which compounded in bentonite and actived carbon from Pruned Apple Branches -

廣瀬 孝・小野浩之

本稿では、糞の悪臭成分であるメチルメルカプタンを除去することを目的として、リンゴ剪定枝活性炭の調製条件とその除去物性およびベントナイト-リンゴ剪定枝活性炭複合ペレットの作製・評価を行い、以下の知見を得た。質量減少率および灰分、比表面積は賦活時間が長くなるに従って大きくなる傾向を示した。メチルメルカプタンの減少率は無賦活のリンゴ剪定炭が 36%、その他の活性炭は 80%を超える値を示した。活性炭と複合している複合化ペレットの方がベントナイトのみよりも除去率が高かった。

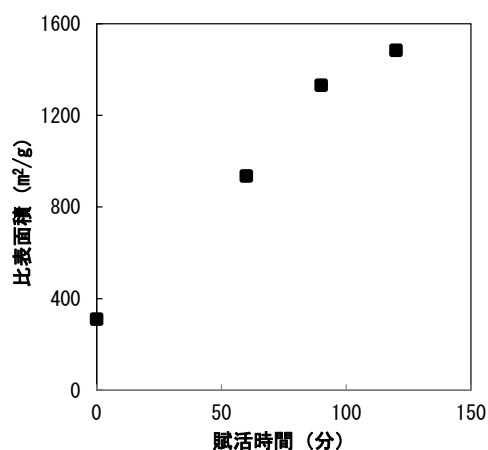


図1 リンゴ剪定枝活性炭の賦活時間と比表面積との関係

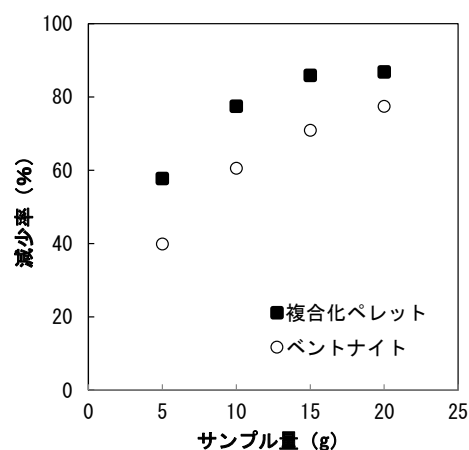


図2 メチルメルカプタンの吸着物性